

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	合唱
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい 公益社団法人関西二期会	団体ウェブサイトURL https://kansai-nikikai.com/
代表者職・氏名	理事長 米田哲二	
制作団体所在地	〒 540-0026 最寄り駅(バス停) 大阪メトロ谷町線谷町四丁目駅 大阪府大阪市中央区内本町2-3-11-601	
電話番号	06-6360-4649	
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい 公益社団法人関西二期会	団体ウェブサイトURL https://kansai-nikikai.com/
代表者職・氏名	理事長 米田哲二	
公演団体所在地	〒 540-0026 最寄り駅(バス停) 大阪メトロ谷町線谷町四丁目駅 大阪府大阪市中央区内本町2-3-11-601	
制作団体 設立年月	1964年	
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	理事長:米田哲二 副理事長:斉藤言子・小餅谷哲男 理事:大谷圭介・片桐直樹・他13名 監事:薩摩和男	正会員:282名/準会員:230名 賛助会員:67名/会友:19名 合計614名 入会試験と活動実績により入会が認められる
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者 を置く	本事業担当者名 井本斐
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 関藤加奈美

制作団体沿革	1964年に二期会設立の主旨とその活動に共感を得た京阪神に在住する声楽家達により「二期会関西支部」として発足し1979年に「関西二期会」と名称を改める。2010年に法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに2011年12月26日付けで「公益社団法人関西二期会」となった。オペラの演目としてよく知られた作品の上演はもとより、『アルバート・ヘリング』（関西初演）『真夏の夜の夢』（関西初演）『るつぼ』（日本初演）等意欲的な作品を公演し、大阪文化祭賞3回、大阪府民劇場奨励賞3回、音楽クリティッククラブ賞4回、尼崎市民芸術奨励賞、トヨタ音楽賞、三菱信託音楽賞等を受賞。平成26年9月、定期オペラ公演『魔笛』では第12回佐川吉男音楽賞を受賞している。	
学校等における公演実績	平成26年度 学校公演19公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成27年10月 大阪府立大手前高校学校公演 平成27年度 学校公演18公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成28年度 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成29年6月 上宮太子中学・高等学校（音楽鑑賞会） 平成29年度 学校公演16公演（文化芸術による子供の育成事業） 平成29年10月 西宮市立瓦木中学校（音楽鑑賞会） 平成30年度 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 令和元年度 学校公演8公演（文化芸術による子供育成総合事業） 令和2年度 学校公演6公演（文化芸術による子供育成総合事業） 令和3年度 学校公演1公演（文化芸術による子供育成推進事業）	
特別支援学校等における公演実績	平成14年2月 滋賀県立八幡養護学校（芸術文化ふれあい教室） 平成19年11月 富山県高岡市立こまどり養護学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成20年10月 門司市立特別支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成21年10月 大阪府立視覚支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 平成23年10月 兵庫県立芦屋特別支援学校（次代を担う子どもの文化芸術体験事業） 平成27年10月 長崎県立鶴南特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 平成28年11月 富山県立しらとり支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 平成30年10月 北海道紋別養護学校（文化芸術による子供の育成事業） 令和元年7月 沖縄県立森川特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和2年9月 長崎県立川棚特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 令和3年2月 大阪府立泉南支援学校（文化芸術による子供育成総合事業）	
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/sJE8cZsoSXw （リンクのみの限定公開）
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	関西二期会合唱公演			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>●オープニング イタリア民謡「フニクリフニクラ」 ●四季を彩る日本の歌 花(作詞:武島羽衣、作曲:滝廉太郎)～我は海の子(文部省唱歌)～村祭り(文部省唱歌)～雪～ふるさと(作詞:高野辰之、作曲:岡野貞一) ●声が大変身! トランペット吹きの休日(作曲:L.アンダーソン) ●声を聴き比べてみよう 男声:ソーラン節(北海道民謡) 女声:ほたるこい(わらべ歌) ●みんながんばれ! 小学校:勇気100%(作詞:松井五郎、作曲:馬飼野康二) 中学校:ジュピター(作詞:吉元由美 作曲:G.ホルスト) 小中共通:しあわせ運べるように(作詞作曲:白井真)～花は咲く(作詞:岩井俊二、作曲:菅野よう子) 小中共通:群青(作詞:福島県南相馬市立小高中学校平成24年度卒業生(構成・小田美樹)、作曲:小田 美樹(おだ みき)、編曲:信長 貴富)</p> <p>—休憩10分—</p> <p>●楽しい二重唱 猫の二重唱(作曲:G.ロッシーニ) ●オペラってなあに? 『ナブッコ』より“飛べ、黄金の翼に乗って”(作曲:G.ヴェルディ) / 『カルメン』より“ハバネラ”(作曲:G.ビゼー) / 『椿姫』より“乾杯の歌”(作曲:G.ヴェルディ) ●みんなで歌いましょう ワークショップの成果を発表(各学校毎の共演曲) ●校歌 校歌斉唱/混声四部合唱による校歌 ●アンコール すべての山に登れ(作曲:R.ロジャース)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 110 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	楽曲
	該当事項がある場合	権利者名 JASRAC	許諾確認状況	採択後手続き予定
演目概要	<p>「関西二期会合唱団」は、関西を中心に全国的にソリストとして活躍する24名の歌手から結成され、オーケストラの定期公演や放送局主催の公演にも出演しています。映像や録音などでは味わえない圧倒的な迫力、歌手達の息遣い、そして繊細なハーモニーなど、「生きた芸術」を体験していただきます。</p> <p>オープニングにはイタリア民謡の「フニクリフニクラ」を選曲、次に長く歌い継がれてきた日本の歌として唱歌「花」「我は海の子」「村祭り」「雪」「ふるさと」をメドレーでお届けします。</p> <p>歌詞のないスキヤット「トランペット吹きの休日」、ア・カペラで「ソーラン節」「ほたるこい」、と続き、勇気・元気をもらえる曲として「勇気100%」「ジュピター」「しあわせ運べるように」「花は咲く」「群青」を歌います。</p> <p>後半は総合芸術と言われるオペラを体験し、興味を持ってもらいたいという思いから、オペラの名曲として「猫の二重唱」や歌劇『ナブッコ』などから合唱曲を披露します。</p> <p>プログラムの最後には各学校で共演曲として取り組んでいただいた楽曲や校歌を一緒に歌うことにより、他者と共に物事に取り組み達成する力、その喜び、またそれらを共有するコミュニケーション力を養うことができるプログラムとなっています。</p>			

<p>演目選択理由</p>	<p>オープニングから前半にかけては、「フニクリフニクラ」「勇気100%」「ジュピター」などメディアにも取り上げられ、尚且つ合唱ならではの歌声の力強さやメッセージ性を伝えられる楽曲を選曲し、子どもたちの関心を引き、ともすれば遠いものを感じてしまいがちなクラシック音楽を身近に感じていただきたいと考えております。続く「花」「我は海の子」「村祭り」「雪」「ふるさと」では、歌詞を通して四季折々の美しい情景や物語を感じ取る力を養うことができる楽曲を選曲しています。他にも、純粋な声の重なりが生む美しさが感じられるア・カペラ、国境や時代を超えて愛されるオペラの名曲や命の大切さや生きる勇気を歌った合唱曲など、音楽を通して「命」「絆」「愛」といった普遍的なテーマについて一緒に感じ、情操教育のきっかけとして豊かな人間性を育てられるような楽曲をプログラムに盛り込む工夫を凝らしています。プログラムの最後には、毎回大好評を得ている混声四部合唱版「校歌」を演奏いたします。子どもたちにとって最も身近な「校歌」を編曲し、常時は単旋律で歌っている校歌が美しくダイナミックな四重唱として生まれ変わる驚きを感じていただきます。また、共演曲の模範演奏を行うことで、子どもたちに演奏歌手と自分たちとの違いを感じ、より良い発声方法や姿勢で歌うことができるように考えるきっかけを与え、歌を通して想い出や仲間、故郷など大切なものを想う気持ちを深めていただきたいと考えています。</p>		
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>体育館のフロア上にひな段を組んで頂き、できるだけ児童・生徒に臨場感のある近い距離で演奏します。オペラの名曲では、歌手が演技をしながら児童・生徒の中に入って歌い参加者全員を巻き込んでのサブライズ共演をおこなったり、事前に学校側に課題曲(共演曲)となる合唱曲1曲を選んでいただき、歌の共演をします。一緒に音楽を創り上げているという意識、大勢で声を重ねた時に生まれる一体感や感動、達成感を感じていただき、会場全体での交流を図ります。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮：鈴木恵里奈 ピアノ：今岡淑子 合唱団 ソプラノ：武久優子、立塚夢子、四方典子、三村浩美、岩本実奈子、北川千尋 アルト：井上美和、永富真紀子、西村薫、谷田奈央、安本佳苗、名島嘉津栄 テノール：相原敏明、井上博史、山中雅博、西垣俊朗、島袋羊太、山本欽也 バリトン：大谷圭介、萩原寛明、萬田一樹、神田行雄、山崎亨、服部英生 (以上予定の為、同等の音楽家と変更することがあります。)</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者： 26 名 スタッフ： 2 名 合 計： 28 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量： t 車 長： m 台 数： 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		0	時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	10時20分	10時30分～12時		13時30分～15時20分	10分	15時20分～16時	16時
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	22日	20日	10日	20日	20日		
	11月	12月	1月	計	137日		
	0日	22日	23日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 →低学年の帰宅時間の兼ね合いで学校と相談の上、本公演を2・3校時に行うことがあります。 その場合は、8時半ごろ学校に到着して午前中に公演後、給食時間に退出いたします。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	全校児童・生徒対象		
				鑑賞人数目安	全校児童・生徒対象		



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※コロナ禍前の写真ですので、マスクはしていません。

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	6名
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>オープニングでは、児童・生徒の皆さんに馴染みのある曲として小学校では「さんぽ」を、中学校では「花」を4人で歌唱いたします。メンバー紹介はソプラノ、アルト、テノール、バス、それぞれの声域で挨拶をし、各声部の魅力を感じていただけるようにと考えています。</p> <p>続いて、歌うための体の使い方や息の使い方、発声などを順に学んだ後、本公演で歌う共演曲の歌唱指導と簡単な指揮法の指導を行います。共演曲は予め各学校と相談の上曲目を決定いたします。ここでは実際に体を動かしたり声を出したりする形で児童・生徒たちにも参加する場を多く設けます。</p> <p>また、ミニコンサートのコーナーではプロのオペラ歌手によるソロ歌唱を聴いていただき、最後に質問コーナーを設けて児童・生徒の様々な疑問を募集・回答いたします。現在も精力的に活動する音楽家が質問に答えることで、児童・生徒がこれからの音楽に取り組むヒントになればと思っております。</p> <p>ワークショップを通して、プロの歌声を聞き、声を出す方法の指導、共演をする本公演の課題曲の指導を実際に受けていただくことで、子供たちの参加意識を高めるとともに、生徒たちの今後の音楽活動へ生かせるように工夫をしております。ワークショップ後半では、耳馴染みのあるオペラの名曲を本物のオペラ歌手の声で聴いていただき、音楽の楽しさを体感していただきます。</p> <p>自分が歌うことについて改めて考えていただくことで、本公演の合唱公演をより楽しく、より深い理解を以て聴いていただきたいと思っております。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>ワークショップの最大の狙いは、本公演で合唱演奏について興味を持って鑑賞していただくことです。</p> <p>そのためには、「どの様に声を出しているのか」「曲はどのように演奏する事が重要なのか」を知っていただくことが大きなポイントになります。</p> <p>普段の生活では聞くことのない声色だったり、どのような訓練をして声の響きを出しているのかを紹介しますが、単純で簡単な訓練を毎日積み重ねることできれいな声が出てくることを知っていただくことで、より「オペラ歌手」を身近に感じていただけるようになると考えています。普段はソリスト(独唱者)として活動している歌手が実際にワークショップで歌い、体育館に響き渡る人の声を実感していただきます。</p> <p>また共演曲を題材にして、曲の構成を考えること、そして合唱の醍醐味である、声を合わせることによる響きをより深く感じていただくこともワークショップの狙いの一つです。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>特別支援学校での公演については、事前に各特別支援学校の先生と電話やメールにて綿密に打ち合わせを行い、生徒・児童と一緒に参加できる箇所を設け、なおかつ各学校のそれぞれの実情に対応可能なプログラムを考えます。また、公演時間の短縮、曲目の変更等も、生徒・児童の状況に合わせて個別に調整を行います。</p>		